程には必

要なのではないで

う気持ちが子どもの成長過

しょうか。

童謡の魅力を語る 眞理ヨシコ広野童謡大使

## 眞 理 ヨシコ

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。 芸大在学中にNHKオーディションに

合作。 NHKテレビ「うたのえほん」初代 "うたのおねえさん"となり1年半レ ギュラー出演、その後15年にわたりN HK「おかあさんといっしょ」にレギュ ラー出演する。「おもちゃのチャチャ チャ」で日本レコード大賞童謡賞受賞 のほか、数多くの賞を受賞。

の頃を受真。 現在、唱歌・童謡、新しいこどもの歌を中心に叙情歌、シャンソン、タンゴ、カンツォーネ、そしてミュージカルなどの他の分野にわたっても活躍。東洋英和女学院大学教授として、こどもの歌を歌い続けた中から培った経験 を生かし、未来の保育士の育成に力を 注いでいる。

豊かにするということを歌でお 感を研ぎ澄ますことの出来るも 私たちは子どもたちに五感って 手伝いしたいと思ってます。五 いうものを、人間の見たり、 さんありますよね。 ているいいものが広野にはたく お手伝いさせていただきます。 大使 することばかりかもしれませ 大使 そうなんですよ のを触ったりっていう感覚を たり、書いたり、味わったり、 り、山もあり、海もあり。 あの一、本当にいまだに残っ お花のゆりにしても、 いろいろ先生にはお願い いえいえ、 それは喜んで 風景にして 川も 聞

町長そうです。

星もきれに見

います。 ころなんですけれども、 育っていったらすごくいいんだ ます。そんな中で子どもたちが ろうと思います。 まったくその通りだと思 これも町の自慢すると 下水道

開催できるということは意味深 ることができます。 その環境の中で童謡まつり が

まれたんですね。 大使 それがあったから歌が いことです。 生

う思っています。 したけどね。この頃つくづくそ 歌が生まれる」とおっしゃいま いな水のいい所には、 しゃっていました。「空気のきれ へがいる。だからそこにはいい そうなんですよ。 ※2中田喜直先生はお いい心の

が広野にはたくさん残ってい

うふうに期待をしていますし、 生懸命幼稚園の子どもたちが歌 てこんなにいいことやっている しなくてはいけないと感じま そのために私たちはお手伝いを 歌があふれるであろう、 人たちが大きくなる頃には町に を歌ってくれましたけど、 本当に広野の町が、 今日も あ

あまりPRできるところ

る。歌が持つ力とはすごいもの うれしく思っています。やはり、 続けなければならないと思って こととおっしゃいましたがすご んの方と輪を広げることができ をつなげる。 こういう荒んだ世の中ですね、 です。その仕事をこちらではさ つくるということも1つの仕事 が私たちの仕事なんですが、 大使 司会 最後に広野童謡大使とし いらっしゃるということは本当 を貸していただいている町長が いる仕事の1つで、それにお力 い大きなことで、私たちにとっ そういう時に歌を歌うことで心 せていただいているので本当に の生きている時代に新しい歌を ての抱負をお聞かせください。 に素敵なことでうれしいです。 てはそういうことはやはりやり 懐かしい歌を歌い継ぐの 歌うことでたくさ

ういう町なんで空気がおいしい くきれいになったんですよ。そ

し、水もおいしいんですよ。

星もきれいですしね。

が完備されていて川がものすご

のいろいろな所に、「広野町っ 広野が発信地になって日本 そうい

> ればうれしいことだと思ってい 続けていただくために私も仕事 思うんですね。すごい発信地に を歌ってみましょう」とか、そ の1つとしてやらせていただけ なると思います。ぜひ、これ いくということになっていくと 人が種をまいて歩いて広がって んでいくということは日本中の んだよ」って。「うちも広野の 一歌がお花の種のようにまた飛 を

町長 いと思っています。 までも元気に歌っていただきた いと考えてます。 つりを本当に長く続けて行きた くりの一環として、 私も教育を含め、 大使にはいつ この童謡ま まちづ

いました。 大使 今日は本当にありがとうござ ありがとうございました。

※2中田喜直…作曲家。 ※1深緑夏代…シャンソン歌手。 だかの学校」など 「ちいさい秋みつけた」や「め 作品に

りますけれども、

町長は小さい 時間は掛か

大使 そうですね、

います。大使がおっしゃったよう ものが育ってくるものと考えて ひとつひとつ大きくPRできる はないですが、小さなことから、

に時間が掛かるとは思いますが



童謡のまちづくりについて 話す山田町長

おられますか?

童謡の魅力をどのように感じて きしたいと思います。お二人は る童謡の魅力について話をお聞 司会 次に、お二人が感じてい の歌を歌ってきました。 で47年目でしょうかね。

子ども

聴いても飽きないです。 うんですよ。そして童謡は何度 心感や癒しを与えてくれると思 なんですよ。童謡は子どもに安 の寝顔がもう本当に安心した顔 んですよね。そのときの子ども るとあっという間に寝てしまう もに童謡のCDを聴かせてあげ を感じました。車に乗った子ど 目を潤ませるものかということ た。童謡とはこんなにも大人の に童謡を聴くようになりまし 町長 私に孫ができていっしょ

うして聴くことが出来るという なと感じております。 ことは大使からの贈り物なのか もほほえましいです。童謡をこ て歌うんですが、その姿がとて です。子どももいっしょになっ 本当に童謡はすばらしいもの

ごく面倒なことになるのです やはり童謡というのは唱歌と童 が唱歌で童謡でと言い出すとす 謡とあって、このことをどっち くとありがたいです。 大使 そうおっしゃっていただ 両方含めて、子どもの歌っ 私自身は

「広野賛歌」、夕方は「とんぼの

に歌っていなくても体の中に染

うようなことがしっかりありま 歌がありますよね。 ようなくらい童謡の中にはいい れて、大事なものだけが残った は純度の高い、お米のぬかがと んですよね。そういった意味で しゃったとおり、 すので、さきほど町長がおっ には媚があってはいけないとい であると思うんですよね。それ 旋律をつけて作ったものが童謡 ちになるように言葉を選んで、 の言葉で、 きるだけたくさんの思いを最小 ということを大人が考えて、で のがたくさんありますよね。そ て、そして、それにとてもいい いらないものは全部捨て去っ 子どもに何か与えよう つまり一番短いかた 飽きが来ない

車ベルを「とんぼのめがね」と と思いまして、JR広野駅の発 町民の皆さんに童謡を聞いてい など世の中を悲しくさせること す。今、心の荒んだような事件 を少しでも町民の方に感じ取っ すか癒しやなにか魅力的な部分 た。時報は朝が「汽車」、お昼は ただいて少しでも癒しになれば がたくさんあります。 ていただきたいと思っていま 町長 その童謡のよさといいま 「汽車」のメロディーにしまし 広野町

て考えたときに、すばらしいも います。 とと感じております。 車から降りてくると、そういう りてくるお客さんが発車メロ 童謡が流れていて疲れがとれ 光景があったことです。また、 ディーにあわせて歌いながら電 うれしかったのは、 短いのでもうちょっと長く流し めがね」のメロディーを流して きすると非常に意味があったこ なお話を町民の皆さんからお聞 うな話が出ています。このよう る、朝も楽しくいけるというよ ベルをメロディー化して非常に ています。今回、広野駅の発車 てくれないかということがある んで、今後考えてみたいと思っ

そして、 件のようなものを整えてもらえ 薄なものですから、 う場とか、歌う雰囲気、 のですね いた歌が、その時にはいっしょ がりというものが家のなかで希 すよね。今、 ば、子どもは歌が大好きなんで んとなく家の中の誰かが歌って いんですよね。小さいときにな 大使 子どもたちももちろん歌 つの歌を家中で歌うことがな その祖父母の縦のつな なかなか、

親と子

歌う条

町民の皆さんからは、 電車から隆 がっていくと思うんですね。 かかるんですけど。 から時間的にはちょっと、 て思ったりすることが、もう少 歌は聴いたことのある歌だ」っ 駅を降りたときに「あっ、この みていて、ある日、その人が大 町長 そうですね。 し年をとったときに癒しにつな 人になったとき、 例えば広野の

ごくいいと私たちは思っており いかっていうふうになると、す と。これは自分たちの歌じゃな で生まれた歌だと、「ザリガニく うことで広野からたくさん新し ますけどね。 ん」ってどこかで聴いた歌だな い歌をつくっていただいてます 活に染みてしまえばいい。とい 大使 それが、子どもたちの生 他じゃなくて自分たちの所

世の中なので童謡を求めている

われわれが、何か、こういう

剣になって考え抜いたり、そう ほしい。物事に感動したり、 の支えになってくれるのではな んでいけるような大人に育って いかと思います。童謡を口ずさ んな困難を乗り越えていく1つ にぶつかると思います。 もたちが成長していくなかで悩 含め童謡でまちづくりを進めて んだり、苦しんだり、 いますとお話しています。子ど に行ったときも広野町は教育を 町長そうです。 私が県にPR 困難な壁 歌がそ

なかなか、